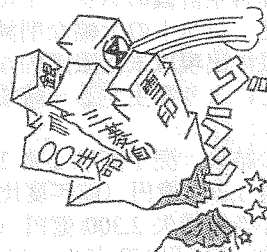


特集：資料に見る三菱自・岡崎工場閉鎖問題

- 資料：1 三菱自動車の「事業再生計画」と「追加施策」
資料：2 三菱自動車の 財務諸指標推移
資料：3-1 三菱自動車労組・第83回中央委員会議案〔2004年6月30日〕
第1号議案「事業再生計画の件」
参考 「経営の再構築に関する労働組合の考え方7か条」
(労組速報「ゆに」No.611)
資料：3-2 事業再生計画達成のための追加施策の受け入れを決断
(労組速報「ゆに」No.613)
資料：4 『前照灯』第33号
資料：5-1 アンケート用紙(岡崎工場の閉鎖問題について)
日本共産党 三菱名古屋支部
資料：5-2 岡崎工場閉鎖について社宅聞き取り〔アンケート〕結果等
資料：6 『前照灯』第34号
資料：7 「名製(名古屋製作所)人員対策の件」、新聞報道〔7月10日〕
資料：8 三菱自関連の朝日新聞「投書・声」 <右頁から左頁に>
資料：9 C企業の社内資料「M自動車のリコール隠しについて」(実物A3版)

(あわせて、『所報』第114号の関連記事をご参照下さい)



リストラ・スキャン経営で
コケました

● 第115号・特別号

○ 2004年 7月15日

三菱自動車の「事業再生計画」と「追加施策」

2004年05月21日

三菱自動車、2003年度決算及び2004年度業績見通し並びに事業再生計画

三菱自動車は本日、2003年度（2004年3月期）の決算及び2004年度（2005年3月期）の業績見通し並びに事業再生計画を発表した。

1. 2003年度（2004年3月期）決算結果

売上高は、販売台数が日本、欧州、アジア・その他地域のそれぞれにおいて順調な伸びを示したものの、米国での販売金融における与信基準の厳格化や競争激化に伴う販売台数の大幅な減少により、2兆5,194億円（前年度実績*：2兆7,362億円）となった。

なお、地域別の販売台数については、日本においては新型車投入効果などにより前年度比5千台増の359千台となり、8年ぶりに前年実績を上回った。欧州においても、商品力の強化に加え東欧での台数増の貢献により前年度比14千台増の214千台となり、4年ぶりに前年実績を上回ることとなった。アジア・その他地域においては、前年度比60千台増となる151千台の販売実績を記録した中国が他地域での販売減を補い、前年度比1千台増と微増ながら過去最高となる681千台を記録した。しかしながら、北米における販売台数が前年度の343千台に対し273千台と大幅に減少したことの影響を受け、全世界での販売台数は前年度比50千台減の1,527千台にとどまった。

営業損益については、欧州事業が当社設立以来初の黒字化を達成したものの、米国での販売台数減に加え、販売促進費の増加及び米国販売金融事業における貸倒れ損失の影響もあり、969億円の営業損失となった（前年度実績*：営業利益840億円）。

また経常損益は1,103億円の経常損失（前年度実績：経常利益674億円）、当期損益については、米国及び日本において、2004年度に課税所得のマイナスが見込まれるため、保守的に判断し、一旦繰延税金資産の大部分の取り崩しを行ったことから赤字幅が拡大し、2,154億円の当期損失（前年度実績：当期利益439億円）となった。

（*）売上高及び営業損益の「前年度実績」については、前年度（2002年度）に実施した海外連結子会社の決算期変更による影響及び前年度決算において含まれていたトラック・バス事業の財務結果を除外している。

2. 2004年度（2005年3月期）業績見通し

事業再生計画のスタートにあたる2004年度については、企業改革と事業再生をスタートさせ、コストの大幅な削減や一部事業の整理を含めた施策の実施に着手するものの、その効果の出現は未だ限定的なものに留まる。さらに、事業再生計画進捗に伴うリストラ費用などにより発生する一時損失を織り込んでいる。

この結果、売上高は2兆2,500億円（前年度比2,694億円減）、損益の状況については営業損失1,200億円（前年度比231億円増）、経常損失1,500億円（前年度比397億円増）、そして当期損失2,300億円（前年度比146億円増）を各々予想している。なお、同業績見通しは、105円/USドル、125円/ユーロの為替レートを前提として策定している。

販売台数見通しとしては、前年度比74千台減となる1,453千台を予想している。地域別に見ると、欧州において新型車投入効果により前年度比46千台増の260千台と大幅な

伸びを見込むものの、日本については前年度比 59 千台減の 300 千台、北米で前年度比 40 千台減の 233 千台、アジア・その他地域で前年度比 21 千台減の 660 千台と、欧州以外の地域については各々減少することを予想している。

3. 事業再生計画

・ 自立再生の決意と必達目標

2001 年度から取り組んできた中期経営計画「ターンアラウンド」は、変動費の削減、固定費の削減等において当初目標を達成しつつも、米国の販売金融問題などにより、営業利益率において目標から大きく乖離した結果に終わった。また三菱ふそうのリコール問題で大きく信頼を失ったことにより、将来の会社存続を問われる危機に直面している。計画へのチャレンジが自動車メーカーの存続をかけた最後の挑戦であるとの認識にたち、「自立再生」を合言葉に三菱自動車グループの経営陣と全ての社員が力を合わせ、自分たちの力で、三菱自動車を必ず再生させる決意である。また、この計画の履行により、2005 年度に経常利益での黒字化、2006 年度に当期利益での黒字化をそれぞれ必達目標とする。

・ 計画の主要項目

(1) 経営改革による信頼の回復と再生の断行

経営改革を完遂する体制（企業倫理委員会、CSR 推進本部、事業再生委員会）を導入し、外部からの監視による徹底した企業倫理の確立と外部からの資本導入により大胆な事業再生を断行する。

信頼の回復のための施策

社外有識者を中心に構成される「企業倫理委員会」が、お客様第一、安全第一、品質第一の遵守を「社会の眼」で監視し、取締役会に直接諮問・答申することにより、品質、ガバナンス面の監査機能を抜本的に強化する。

「品質統括本部」に品質保証・管理機能を一元化するとともに、全社的な品質監査、コンプライアンスを推進する CEO 直轄の「CSR 推進本部」が品質マネジメントを監査し、改善を推進する。

再生断行のための施策

外部投資家の視点から、厳しい改革を推進する。

外部投資家を再生委員長に任命し、1 年間の限定で「事業再生委員会」を立上げる。また、事業再生テーマごとに部門横断型チームを設置する。

部門横断型チームは若手中心で、組織の壁を乗り越えて大胆な実行案を再生委員長に提言する。

執行部門は事業再生委員会からおろされた実行案に対して実行責任を持ち、地域担当は地域別に設定された最終損益に結果責任を持つ。

シンプルな組織体制

役員数を 2003 年度末の 51 人から 2004 年度末には 37 人に削減する。

部数を 2003 年度末の 230 から 2004 年度末には 150 に削減する。

(2) 大胆な収益構造の変革

固定費、変動費を大幅に削減する。

コスト体質を改善する施策

固定費削減（2006年度までの削減効果は850億円）：

生産能力を2006年度までに17%削減し、工場稼働率を97%まで改善：

具体策として、国内は、岡崎工場の車体生産を2006年度までに終了し、3生産拠点を2拠点に集約する。海外は豪州MMALの生産についてはエンジン工場を2005年度に閉鎖するとともに、車体組立工場は年間3万台規模に縮小し、生産を継続する。間接人員を2006年度までに30%削減（2004年度初26,400人から2006年度末18,800人へ）プラットフォーム数を2010年までに現状の15から6に集約することにより、開発効率を高める。

変動費削減（2006年度までの削減効果は1,540億円）：

2006年度までに資材費の15%削減を実現する（2006年度までの削減効果額合計：1,200億円）。具体的施策は、三菱クロスファンクショナル・プロジェクト（MXP）活動を継続・強化するほか、グローバルソーシングの推進、海外拠点へのMXP活動の導入、金型費の低減、間接資材における共同コスト低減活動の推進など。さらに資材費を含めた変動費のトータルコストダウンとして、2006年度までに1,540億円を達成する。

米国における直営販売金融事業を見直し、保有資産規模の縮小と外部パートナーとの戦略提携の可能性を各々模索する。

保有する資源を最大限に有効活用し、小さな本社を目指す。本社機能の京都への移転により、業務効率の向上と、本社の人員削減（30%）、年間約20億円のコスト削減が可能となる。

(3) 成長のための商品戦略

パジェロに象徴される「SUV」、ランサー・エボリューションに象徴される「走り・スポーティ」という三菱自動車DNAへ回帰し、カーラインを再構築する。

PX（Product Executive）体制の導入により商品構想から開発、生産、そして販売まで一貫した商品ライフサイクルの責任を明確化する。

三菱自動車DNAをもった新型車を積極的に投入する。2004年度～2007年度の新車投入数は日本：16、欧州：10、北米：7、中国：11となる。

(4) 成長のための地域戦略

・日本

顧客を起点とした販売サイクルへの回帰

顧客のニーズにフォーカスした三菱自動車DNA車の連射。（2004年度：4モデル、2005年度：5モデル）

安心無料点検、24時間サポートを含め全社挙げて顧客との関係構築を図る。

ITインフラの活用、店舗リニューアル促進等による販売体制の整備。

・米国

需給バランスを押さえた収益サイクルへの回帰

工場の生産能力の適正化。

フリート比率とインセンティブの低減。

特別仕様車の積極的な投入。

新型車の積極的な投入（2005年度：3モデル）

・中国市場での利益機会の実現

現地パートナーへの出資比率の引き上げにより生産・販売網を三菱自動車ブランドに切

り換え事業の安定化を図るとともに、利益機会の拡大を実現する。また、新車種、アジア戦略車の投入により商品ラインナップを強化するほか、エンジン・トランスミッション合弁会社のアジア地域での部品供給基地化を実現する。2008 年度には 500 店の三菱自動車ブランドディーラーで年間 22 万台の販売を目指す（ローカルブランドを含めて 31 万台）

・地域別販売台数目標

2006 年度にかけて中国を含む北アジアでの大幅な販売増加を実現するとともに北米での販売回復を実現させ、世界販売台数 170 万台を目指す。

(5) ダ임ラークライスラー（DC）とのアライアンス

DC は三菱自動車にとって重要なパートナーであり、今後も同社とのアライアンスは経済合理性の原則に基づいて推進する。既存の協業プロジェクトである B セグメント（コルトクラス）のプラットフォーム共同開発・生産、ワールド・エンジンの共同開発・生産、C セグメント（ランサークラス）のプラットフォームの共同開発、ピックアップのクライスラーからの OEM 供給は、両社にとってメリットのあるものであり、今後も継続する。また、将来発生する案件については経済合理性に則り、案件毎にアライアンスの可能性を検討する。

(6) 業績目標

2005 年度に最終損益の黒字化、2006 年度に売上高 2 兆 4,900 億円、営業利益 1,200 億円、経常利益 1,000 億円、当期利益 700 億円、営業利益率 4.8 %を目指す。

(7) 財務目標

総有利子負債を 2006 年度末には 40 %以上削減し、負債資本比率を 2.5 倍以下とする。

・計画を実施するための資本増強策

増資計画の内容は以下の通り。

三菱グループから 2,700 億円、ストラテジック・パートナーである中華汽車（CMC）から 100 億円、市場からの調達 1,700 億円の計 4,500 億円。それぞれの内訳は、三菱グループについては三菱重工業、三菱商事、東京三菱銀行、その他三菱グループ各社による優先株 1,400 億円及び、東京三菱銀行、三菱信託銀行による債務の株式化 1,300 億円。

市場調達分については、フェニックス・キャピタルによる普通株 700 億円*及び JP モルガン証券による優先株 1,000 億円を予定。これら資金の使途は事業再生が 3,200 億円、負債削減が 1,300 億円となっている。（*）最大 1,000 億円

なお、三菱グループ各社及び CMC に発行する優先株については既に本日発行決議済みであり、6 月下旬に払込の予定。また、市場調達分のうちフェニックス・キャピタルに発行する普通株式については、定時株主総会で有利発行（1 株当たり発行価額 100 円程度想定）に関する承認を得たうえで改めて発行決議を行う予定である。JP モルガンに発行する優先株についてもフェニックス・キャピタルへ発行する普通株式と同時に発行決議を行い、7 月中下旬の払込の方向で検討している。

今回発行を予定している優先株式は 3 種類であり、3 種類とも将来的には普通株式に転換可能または強制転換される内容の転換型優先株式であるが、三菱グループ及び CMC 向けの優先株式については、相対的に長期保有することを旨とした商品設計としている。

このリリースに記載されている三菱自動車の現在の計画、戦略、確信、業績等の見通しなどのうち、歴史的事実でないものは将来の見通しです。これらの将来の見通しは現在の期待、予想、見通し、予測から得られた経営陣の判断に基づいています。これらの期待、

予想、見通し、予想には、リスクや不確定な要素、仮定が含まれており、記載の見通しとは大きく異なる場合があります。従って、これらの業績の見通しのみには依存することは控えるようお願い致します。また、新たな情報、将来の出来事、その他の進展の結果、これらの見通しを変更することがあります。

2004年06月16日

三菱自動車、事業再生計画達成のための追加施策について

三菱自動車は去る5月21日に事業再生計画を発表致しましたが、その後三菱自動車及び三菱ふそうのリコール問題により国内販売の大きな落ち込みが予想されるため、本日

I 聖域なきコストカット II お客様の信頼回復 III 徹底するコンプライアンス を3本柱とする追加施策の具体策を決定致しました。

なお、今回の追加施策は、既に取り組みを始めた事業再生計画の枠組みの中で予想される状況に迅速に対応することを目指したものです。

I 聖域なきコストカット

三菱自動車は、国内販売の落ち込みによる営業利益ベースの損失として2004年度に300億円、2005年度に300億円を各々見込んでいます。これに対応するため、事業再生計画に追加する施策は次の通りです。これら施策により2004年度に344億円、2005年度に382億円、計726億円の削減効果を見込んでいます。これらは特に労務費まで踏み込んで聖域なきコスト削減を実施するものです。

・労務費の削減（削減額 2004年度：141億円、2005年度：109億円）

2年間 役員退職慰労金見送り、報酬カット（執行役員以上 30～50%削減）

2年間 管理職の給与見直し（対2003年実績10%削減）

2年間 一般社員の給与見直し（対2003年実績5%削減）*

2004年 年末一時金ゼロ*

人員削減の加速、採用見直し等*

年金利率見直し等（4.0%から1.5%に引き下げ）* * 要労使協議事項

・経費削減（削減額 2004年度：153億円、2005年度：203億円）

(1) 国内（削減額 2004年度：80億円、2005年度：120億円）

法規対応関連以外の新規ITプロジェクトの凍結

焦点を絞った広告宣伝活動による国内宣伝費の削減の上積み

本社・開発部門の経費の徹底的削減

(2) 海外（削減額 2004年度：73億円、2005年度：83億円）

外注費、旅費、システム費等の経費の半減

主力モデルに特化した広告宣伝費、販売促進費の圧縮

・コスト削減（削減額 2004年度：50億円、2005年度：70億円）

補用品、用品価格低減、間接資材費の削減の加速

サブライン作業の集約による人員削減、生産効率向上の上積み

直取引による梱包費用の削減上積み

委託業者の見直しによる輸出諸掛削減の上積み

II お客様の信頼回復

お客様の信頼を回復するため以下の施策を実施し、国内事業の再生を図ります。

すでに三菱車にお乗りいただいているお客様の信頼を回復するため「ご愛車無料点検キャンペーン」(20 項目の点検&エンジンオイル交換)をすでに実施しています。また、これから三菱車をお求めのお客様に、安心してお乗りいただくため「三菱3年フルサポートプログラム」(無料点検&24 時間サポート)を開始致しました。

当社乗用車のお客様(国内総保有台数:約 600 万台)のご不安を払拭すると共に、道路交通の安全を確保するため、また自立再生に向けて過去のあらゆる問題や誤りを清算するため、1993 年 12 月まで遡って全ての「指示改修」案件を徹底調査し、約 16 万台について 26 件のリコール届け出を行うことと致しました。

III 徹底するコンプライアンス(企業風土・企業倫理改革の具体策)

事業再生計画の中で、企業風土の改革を進めるために、「コンプライアンス第一」を基本として、「安全第一」、「お客様第一」を経営理念の柱として掲げ、改革を完遂する体制(企業倫理委員会、CSR 推進本部、事業再生委員会)を導入するとともに、社内の周知徹底を図ります。そして、CSR 推進本部が中心となって、従来の社内組織・人材では成しえなかった具体的なアクションによってコンプライアンスを徹底し、その進捗状況を公表致します。特に、コンプライアンスに関しては、これがなければ企業は存続しえないという断固たる覚悟をもって進めていきます。事業再生委員会は、改革を完遂するための個別課題の取り組みに向けてその活動をすでに開始しています。

「コンプライアンス第一」の活動

CSR 推進本部にコンプライアンス・コミュニケーション機能を集約し、情報収集力・発進力を高め、施策の全社統一的実行を実現致します。

企業倫理委員会が社外の目から CSR 推進本部の活動を監視すると共に、取締役会に直接答申・提言致します。

コンプライアンスの徹底の為、計画・実行・評価のサイクルを全面的に見直し、会長・社長以下全役員がコンプライアンス遵守誓約書を提出し行動規範として浸透させます。

本年のコンプライアンスのアクションスケジュールは次の通りです。

6 月下旬 会長・社長による企業倫理遵守最優先宣言

全役員による誓約書提出

7 月 企業倫理組織・体制・規程の再構築

7~8 月 全役員及び社員向け企業倫理セミナー実施

8~9 月 各部門ごとの企業倫理問題検討会の実施及び企業倫理浸透度調査

9 月末 全社員から誓約書提出

10 月末 企業倫理委員会による定着度評価

11 月 2005 年企業倫理遵守促進計画立案

なお、「安全第一」及び「お客様第一」についてもアクションスケジュールをととなった具体的活動を改めて発表する予定です。

三菱自動車 財務諸指標推移

回次(年度)	1970	1980	1985	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003
決算年月	s46:03	s56:03	s61:03	h3:03	h4:03	h5:03	h6:03	h7:03	h8:03	h9:03	h10:03	h11:03	h12:03	h13:03	h14:03	h15:03	h16:03
売上高	221581	1107946	1578823	2313636	2554055	2615959	2455928	2652517	2522559	2585940	2500614	2333971	2106552	2012690	1848684	1877276	1421047
経常利益	936	10037	17473	50214	50504	46567	35354	48046	55393	58035	Δ22157	5231	6336	Δ82350	4725	47756	21165
当年度利益	426	8335	25332	25208	27023	20232	15952	18826	20468	15067	Δ25656	22138	515	Δ356897	Δ70509	Δ2649	Δ213097
生産台数	468607	1124213	1188636	1366508	1407801	1406525	1325407	1349636	1284343	1221171	1175282	1092612	1001742	960014	814615	874191	767000
総資本	339599	663859	1056837	1554119	1667680	1731985	1636646	1695999	1637038	1705910	1724254	1637233	1598373	1797265	1599566	1344817	1115110
期中総資本		634220	967091	1453092	1610899	1699833	1684316	1653123	1653319	1671474	1715082	1680743	1618303	1698319	1698416	1472192	1229964
総資本経常利益率	2.75	1.58	1.81	3.46	3.14	2.74	2.10	2.91	3.35	3.47	—	0.31	0.39	—	0.28	3.24	1.72
自己資本	29900	86321	131796	344135	365041	379140	389959	453884	467734	477308	445032	467171	503453	384647	312683	312346	
自己資本比率	9.92	13.00	12.47	22.14	21.89	21.89	23.77	27.18	28.57	27.98	25.81	28.53	31.48	21.4	19.55	23.22	
内部留保(計)	800	53386	96611	234747	255931	270304	279480	318216	332068	341085	308806	330945	352721	96794	26285	28045	Δ185049
資本準備金		4293	4293	78594	78594	78594	78594	104780	104780	105337	105339	105339	119846	220816	220816	225227	28048
利益準備金	800	879	2638	4592	5190	5803	6417	7046	7706	8367	9029	9029	9029	9029	9029	9029	
任意積立金		2243	658	23967	23313	22835	22399	21400	20870	190299	197891	200329	202511	203816	203346	198029	
未処分積立金		45971	89022	127503	148465	162429	172070	184973	198712	37082	Δ3453	16248	21335	Δ336867	Δ406906	Δ404240	Δ213097
各種引当金				91	369	643		17									
社員数	19528	22080	22747	25515	26470	27603	28678	28742	28383	27827	[24348]	[23734]	[22666]	21076	18498	*13258	*15098
配当金		5.0	5.0	6.5	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0	3.5	—	—	—	—	—	
株価(最高)				1070	830	730	902	995	915	973	936	449	680	496	445	416	
株価(最低)				639	612	553	724	761	688	833	362	212	307	310	200	211	

◎社員数 1999年まで休業者含む2000年からは含まず

*三菱ふそうへの移籍(4380)あり

◎有価証券報告書: 社史などより作成

※休職派遣者を含む

第1号議案

第83回 中央委員会 議案書

事業再生計画の件

と 8 2004年6月30日(水) 10時30分～17時10分
 と 6 東芝労働組合 中央委員会 1丁目2番3号
 TEL 082-732-1141 FAX 082-735-8842

「事業再生計画の件」については、2004年5月26日開催の第149回中央経営協議会(1日目)において会社説明がありましたので、次のとおり対応していきます。

会社説明内容

説明内容は三菱自動車の現状と当面の課題参照(本紙P4～7)

組合態度

三菱自動車の置かれている状況に鑑み、事業再生計画の断行が会社再生に向けた最後の挑戦であり、かつ、計画の達成が会社存続の絶対条件であると認識することから、今回提示された事業再生計画については是とし、組合員の雇用を守る「真の会社再生」に向けて労働組合として決意と覚悟をもって今後の具体的な協議に臨みます。

事業再生計画には「岡崎工場の車体生産の終了をはじめとした車体・コンポーネントの国内生産体制見直し」「間接人員削減」「本社機能の整理・縮小・製作所への統合」といった内容が含まれており、三菱自動車グループに従事する多くの組合員やその家族にとって、生活の変化や将来計画の見直しなどを強いられることが予想されます。

しかしながら、その詳細内容は十分に示されていないのが現状です。

よって、具体的な施策についてスピードをあげて検討を進め、早急に労使協議を行うことを要請していきます。

また、具体的な施策内容の提案に対しては、労働組合として以下の「労働組合のスタンス」「建議ポイント」「確認ポイント」に沿い慎重に検討し、「真の会社再生」の実現に向けて取り組んでいきます。

【労働組合のスタンス】

「経営再構築7か条」
 「RM2001の企業体質改革の考え方」にもとづいた労使協議と本人示のタイミング
 (次ページ参考参照)

【建議ポイント】

「コミュニケーション強化」
 「品質管理体制強化」
 「企業風土改革」
 「社会とお客様の信頼回復」等

【確認ポイント】

「施策立案に至ったプロセスと判断基準」
 「決定根拠となる効果とその実現性」
 「2007年度以降の将来性」
 「具体的スケジュール」等

事業再生計画の実行にあたって、全社員・組合員が正しい情勢認識のもと、真に一体となって取り組めるよう建議します。

参考

「経営の再構築に関する労働組合の考え方7か条（経営再構築7か条）」

I. 雇用機会の絶対確保

- ★ 最低限の考え方として、多様な形態のもとで働く機会を完全に確保する
- ★ 従来にない雇用形態に踏み切る前に、生産対応・人員対策など最大限の努力を行う

II. 本人事情への配慮

- ★ 経営再構築による施策で異動する場合、当該者の社会通念上優先されるべき事情や適性を十分配慮し、本人の理解を得た上で実施する

III. 自由意志の基本厳守

- ★ 早期退職などの施策で退職する場合、退職の強要や一方的な退職勧奨によることなく、また、本人の人生設計に配慮した意向確認においても、あくまで本人の自由意志を基本とすることを厳守する

IV. 労働条件の最大限の維持

- ★ 本人合意の上、従来にない雇用形態が生じる際、労働条件の維持に最大限の努力を行う

V. 適正な成果配分

- ★ 経営再構築により経営基盤を改善した上で、生み出された成果（利益）については、組合員の労働条件面に適正に反映する

VI. 正確な経営状況・将来展望の明確化と再構築施策の実効性確認

- ★ 正確な会社経営状況と将来展望（ビジョン）を引き出す
- ★ 雇用に影響をおよぼす会社再構築施策の実効性を確認する

VII. 事前協議制の徹底

- ★ 施策の計画段階から前広な労使協議を行い、労使双方が十分に理解を得た上で施策を実施する

「居住地の変更等についての労使協議と本人内示のタイミング」
(RM2001の企業体質改革の考え方)

移動のケース	労使協議	本人への内示
居住地変更あり	概ね12か月前を基準とする	概ね6か月前を基準とする
居住地変更なし	概ね4か月前を基準とする	概ね1か月前を基準とする

UNION

MITSUBISHI
MOTORS
WORKERS

ゆに

発行所



三菱自動車工業
労働組合
東京都品川区東品川
2丁目5番5号
責任者 水川敏秋
編集人 八田健嗣

第149回中央経営協議会(2日目)

6月16日(水) 品川三菱ビル 171会議室

「2003年度決算実績と事業再生計画の件」—事業再生計画達成のための追加施策(労務費削減関連)の件

執行部の覚悟と強い意思をもって、 事業再生計画達成のための追加施策 (労務費削減関連)の受入れを決断!

提案を受けるまでの経緯

- 1 三菱自動車は去る5月21日に事業再生計画を発表し、労働組合としても5月26日に開催された第149回中央経営協議会(1日目)でその内容の説明を受け、質疑を交わしました。
- 2 しかし、その後三菱自動車および三菱ふそうのリコール問題等により、国内販売の大きな落ち込みが予想される事態となりました。
- 3 このままでは、事業再生計画の達成は危ぶまれ、加えて今後の事業再生計画のあらゆる活動の原点とも言えるべき資本増強(増資)において、出資予定の株主の理解が得られないことが想定されるため、既に取り組みを始めた事業再生計画の枠組みの中で予想される状況に迅速に対応することを趣旨として追加施策が策定されることとなりました。
- 4 その追加施策はⅠ.聖域なきコストカット、Ⅱ.お客様の信頼回復、Ⅲ.徹底するコンプライアンスを三本柱とするものであり6月16日午後に発表されましたが、その中でⅠ.聖域なきコストカットにおける労務費削減に係る部分について、6月16日の午前に急ぎ以下のとおり会社提案を受けました。

会社提案内容

「事業再生計画達成のための追加施策(労務費削減関連)の件」

1. 収益構造改革について

- ・ 国内販売リスクに備え、自助努力を主体とする追加施策の実行が必至となった。
- ・ 社員のみなさんにも大きな影響が出る項目が含まれており、前広にご提示する。
- ・ 会社全体としての追加施策の説明は別途中経協で行なう。

2. 具体的施策

- ① 2年間 一般社員の月例給与を5%カット(2004年8月給与払いから2006年3月給与払いまで)
- ② 2004年 年末一時金ゼロ
- ③ 年金利率の見直し(4%⇒1.5%)

組 合	会 社
◆ 本社機能の移転・岡崎車体ラインの生産終了など今回の労務費削減の追加施策など組合員に負担を強いる提案ばかりという感がある。このような提案だけではなく、同時に社員・組合員が施策に協力できるようなものも示すべきではないか。また、年末一時金不支給になれば、生活に窮する人が出てくる。このことを本当に懸念している。ついては、特別貸金制度の実施や、社宅入居期限の延長、社宅利用条件の緩和など最大限会社として社員・組合員をサポートすべきと考える。ぜひ検討をお願いしたい。	● できる範囲で検討したいと考える。

◎以上の質疑を交わし、以下のとおり水川中央執行委員長より見解を述べ休憩を要請した。

本件は、本日決断しなければならない瀬戸際の状況であり、機関開催による組合員の総意により可否判断を行っていくという労使協議の進め方の枠を越えている。執行部としての覚悟と強い決断をするしかないと思う。会社を消滅させるか存続させるかの判断ととらえざるを得ない。本日執行部として判断したい。

◎休憩後、第20回中央執行委員会を開催し、会社提案を受け入れることを決断した。

◎その後再開し、会社に対し以下のとおり組合態度を表明した。

組合態度

会社提案には賃金カット・年末一時金の不支給など組合員の生活に多大な影響を及ぼす内容も含まれており、本来であれば、労使協議を行い、組合員の総意により可否判断を行っていくべき問題であるが、「会社が存続するか、滅亡するか」の瀬戸際にある今、それさえも許される状況にはなく、労使協議（※1）の域を越えるものと判断する。

労働組合としては、「会社が存続するか、滅亡するか」をのど元に突きつけられている中、最も優先すべきことは組合員の雇用を守ること、これに尽きると考え、執行部の覚悟と強い意志をもって、会社存続のため自らの血を流すことになる本追加施策を受け入れる決断をする。

※1「労使協議」について

ここでいう「労使協議」とは、以下の一連の過程を踏んだ協議を指しています。

会社提案 → 職場展開 → 支部態度取り纏め → 大会（中央委員会）議論・審議決定
⇒ 組合態度表明

今回、会社から提案された案件は、**規約第45条**（性格および任務）にある「緊急事項で議決機関開催不能の場合」に該当すると判断し、中央執行委員会にて処理をしたものです。

（性格および任務）

第45条 中央執行委員会は、この組合の執行機関であって、大会および中央委員会に議案を提案するとともに、その議決事項を執行し、緊急事項で議決機関開催不能の場合、これを処理する。

前照灯

第33号
2004・6日本共産党
三葉名義部
連絡先
日本共産党
愛知県委員会
052(261)3461

全容を明らかにし 社会・労働者・ 協力会社に謝罪を

職場では
**怒り
不安**

五月二十一日に発表された岡崎工場閉鎖を含む大リストラ計画は、労働者・関連企業・地域経済に大きな影響をおよぼす問題です。

まず全容を

隠さず示せ

会社の方針を信じて、無茶と思われる指示・命令にもまじめに応え、働き続けてきた社員や協力会社に「どうしてこうなったのか」「欠陥問題はこれですべてなのか」「欠陥問題をどうして隠してきただのか」全容を明らかにして経営者として謝罪すべきです。

きちんと

謝罪を

事故で犠牲になられたかたがたや家族に対し謝罪と誠意ある対応は当然ですが、車を安全と信じ毎日運転していたお客さんや社会にも、包み隠さずきちんとした説明と謝罪が必要ではないでしょうか。

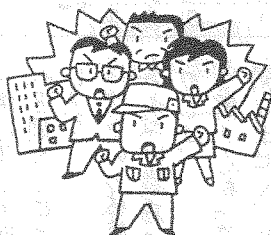
再建計画

社会的責任果たせ

再建計画は、当然地域に対する経済への影響はもちろんのこと、なによりもそこで働く社員が納得のできる再建計画にすべきです。

労働者の労働条件の切り下げは、労働者の働く意欲を低下させるものです。

儲け第一、丁度回復で社員的生活や協力会社に一方的な犠牲を強いる方針ではなく、労働者と一語に討論を検討すべきではないでしょうか。



自由に発言

できる職場に

岡崎工場では、「これではだめ」との声があつても、「一向に解決されない」との声もあります。

社員一人ひとりが自由に意見がいえその声に誠実に答える職場づくりが必要です。

労働組合幹部にも

大きな責任

リコール隠しについて、他メーカーの労働組合からも「労働組合がチェック機能を果たしていないことが重大」ととられていました。

「会社に怒りを感じています」「労働組合幹部にも、何でも会社いいなりで協力してきて、何のチェック機能も果たさず何をやっているんだ」と組合員の怒りの声。

労働組合幹部の責任も問われます。

労働組合は、会社の方針の推進役ではありません。

労働者の立場に立ち、雇用はもちろん組合員の生活を守ることに、会社に社会的責任を果たさせることが必要です。

潮流

三菱自動車不正の
開は、とてまぬい
のせしょう。プレ
キが利かなくなった
トラックが壁に衝突、運転手
が死に、高速度道路、運転手が
える。▼四年前に閉鎖しを
謝罪し後もこんな事故を起
こし、対策もとてまぬい。
しかも、信用を失った会社が
急ぐとなると、罪をない労働
者二千人ものリストラを
計画す。「企業も社会の一
員」という自覚が芽生えられ
ません▼アメリカの雑誌「ニ
ューズワイ」が、世界の
企業向けを掲載しています。
ふつは、赤いほやちやうけ
の多くで順位をつけます。し
かしこんどは、売主と財務
に加え、「社会的責任」を交
えませう社会的責任を四つの
分野で展開しています。経営
への責任の仕方を含む「企
業統治」、労働者の健康や雇
用安定など「従業員」、人権
保護や情報公開の「社会」、
そして「環境」▼愛知五百
番中四百八十三位三菱自動
車は、社会的責任で六十位
点の八・三です。日本の銀
行もさかん。社会的責任が
十位から二ケタ点です。欧
米では、社会的責任を主と果
たしている企業の投資を促
す「社会的責任投資」の考え
方が広まっています。日本
の銀行はあまりです▼それ
にしても、新種の企業寄付と
いい、「社会的責任投資」と
いい、次の話にたがらう
ておもしろい。民主的規制
を通して、労働者や消費者
中八企業と地域経済、環境に
たいする社会的責任を大企業
に果たせ、国民の生活と権
利を守るルールづくりを進
す(日本共産党愛知会)

あなたもお読みください

しんぶん
赤旗

日刊●月2,900円
日曜版●月800円

お申し込み

052-261-3461

日本共産党愛知県委員会まで

(5・28付 しんぶん赤旗)

わいわいがやがや



俺達にも
悪いことしてない
会社のいうように頑張れば乗り切れると信じてやってきた。
みんな生活するために、水自でも、滋賀工場でも、単身でがマンして頑張っている。
俺達は何も悪いことしてないのに肩身のせまい思いをしている。
このうえ岡崎工場を追い出されてはたまらん。
不安いっぱい
毎日新聞記事やインターネットで情報を見ている。
ハローワークに行ってもなかなかいいところ見つからず。
不安いっぱいです。

自由にももの
言える職場に
朝日新聞のインタビュ
ー記事に「リコールしま
しょう」と誰もいえな
かった。
客を見ずに上司を見て
た結果だという記事が
あった。
本当にそう思う。自
由に意見の言える参
囲気を作らないとだ
めた。
こんな風に思ってい
る人は多数ではない
でしょうか。
名前を
教えろ！
先日、工場の門の
前で守衛さんにチラ
シを配るため挨拶し
たらシを渡したら、
「そんなものいらん
名前を教えろ」と言
われました。
「なぜ名前が必要か
」と聞くと、「上に
報告せんといかん」
とのこと。

企業は社会的責任をはたせ

三菱自動車が1万1千人のリストラ計画

「突然のことで市民のみなさん、おびえられているのではないだろうか。三菱はリストラで、アメリカではセハラ訴訟を起され、本邦人の命を守ることをせよと訴えられてきた。会社は都合の悪いことを隠すという体面を要し、企業としての社会的責任を果たさねばならない。中目新聞によると、オーストラリアのハワード首相は、現地のエンジン工場閉鎖に伴い失職する700人、年間21万5千台にたいし、03年の生産台数は10万5千台の削減を求め、市内には多くの関係者が存在します。」

労働者の暮らしや人権を守るために国会に所を請けてきた日本共産党の八田ひろ子候補（参院選愛知選挙区）は、三菱自動車岡崎工場閉鎖計画が発表された翌22日、各駅東岡崎駅前「不祥事による経営不振を働く人に転化する」と力強く訴えました。

人の暮らしを守ることを、三菱岡崎工場は市が誘致したものでないだろうか。三菱はリストラで、アメリカではセハラ訴訟を起され、本邦人の命を守ることをせよと訴えられてきた。会社は都合の悪いことを隠すという体面を要し、企業としての社会的責任を果たさねばならない。中目新聞によると、オーストラリアのハワード首相は、現地のエンジン工場閉鎖に伴い失職する700人、年間21万5千台にたいし、03年の生産台数は10万5千台の削減を求め、市内には多くの関係者が存在します。」

工場の外でチラシを配る人を調べてどうするつもりでしよう。
そういう体質が意見の言えない職場にしているのでは。
守衛さんも「そんなこと聞かせん」と答えられようにしたいですね。

成果主義が危険
④ あまりにも成果を追いつぎ「お客様の立場になった品管やサービス体制の確立」とか「法令遵守からの品質維持の監査機能の強化」という方針が守れないのでは？
トラフクのハブの新聞報道のように修理費用で試算して決める。これでは安全な車はで

きないよ。
⑤ コストを追求して値をぎりぎりまで下げる。これが欠陥を生む原因では。
⑥ 開発期間の短縮も、充分な研究や実験が出来ずに見切り発車してしまうのではないか。
⑦ ようするに「コスト第一」成果第一が危険だな。

八田ひろ子候補が岡崎で訴え「地域経済と雇用を守ろう」



三菱の経営責任を追及する八田ひろ子候補＝22日、東岡崎駅前

岡崎工場の閉鎖問題について

日本共産党 三菱名古屋支部

愛知県の日本共産党西三河地区委員会は、5月24日「三菱自動車岡崎工場閉鎖問題対策会議」を設置し、早速、八田ひろ子参院議員と日本共産党岡崎市議団は、雇用、暮らし、関連企業・業者の経営を守るため、市として積極的な取り組みをすることを要請しました。

また、日本共産党の国会議員団も対策チームをつくり、5月31日、責任者の佐々木憲昭衆院議員、同事務局長の八田ひろ子参院議員は岡崎市を訪ね、商工会議所、市当局から対応や問題を聞き、名古屋市の中野経済局でも聞き取りをしました。日本共産党は雇用などの相談、下請けや関連企業などへの影響の調査などに取り組み、行政への働きかけなどを強めます。

私たち日本共産党三菱名古屋委員会も、みなさんの生の声をお聴きし、反映したいと思います。

あなたの現在についてお聞かせ下さい（該当するものに○をして下さい）

- ☐ 年 令 ①10代 ②20代 ③30代 ④40代 ⑤50代 ⑥60代
☐ 性 別 ①男性 ②女性
☐ 職 群 ①管理(特専) ②事技 ③技能 ④監督(高技) ⑤その他・前記以外
☐ 勤務先 ①乗技セ部門 ②生産部門 ③その他・前記以外
☐ 記入者 ①本人 ②家族

「岡崎工場閉鎖」などの再建策が発表されましたが、あなたが一番不安に思うこと、困ることは？
 また、今回の再建策で、労働者の処遇で望むことは？

次々とリコール隠しが明らかにされ、その都度TVや新聞で突然知った私たち労働者も多大な被害を受けていますが、このことについてのあなたの思い、考えは？

その他（ご意見、相談、悩みなど）、何でも裏面にお書き下さい

* (FAX) 052-733-2982

* (Eメール) rokugouta@nifty.com

* (郵送) 右記住所（切手負担をお願いして恐れ

〒460-0007

名古屋市中区新栄 3-12-27

日本共産党愛知県委員会（気付）

日本共産党 三菱名古屋支部 行き

岡崎工場閉鎖について 社宅聞き取り〔アンケート〕結果 6月19日現在集約分まで

実施日：2004年6月6日（日）小雨、午後曇り

実施社宅：岡崎市内・竜美ヶ丘〔11:00～14:00〕・小針住宅〔15:30～16:30〕

入居者状況：20～30代が圧倒的に多い。職場はほとんどが乗技セ〔乗用車技術センター〕、留守が半数以上

対応状況：「いいです」「だめです」－4、「自工ではない」－1、「組合に言うからいいです」－1、「ご苦労さん」－1

*会社を辞める。関係ない、どうしようもない。

*長男で家があるのでやめる。

*技術、2カ所で話し（対話集会）があった。

*直接的な職場（閉鎖対象）ではないのが不安です。

*上の責任。

*トヨタへ社長が頭を下げて地元で働けるようにしてもらいたい。（M30代、技能・生産部門）

*再建策の案が非常にあいまいで、その場しのぎ的にしか考えられていないと思います。工場の閉鎖後の仲間の処遇もはっきりせず、精神的にもダメージを受けている若者もいるということです。工場の方（かた）は退職後にトヨタに行きたいらしいが、トヨタに正社員になれる枠がなく、期間社員でしか受け入れがないようなので、せめて正社員の口が見つかるよう、三菱からトヨタに頭を下げて働きかけてほしいです。

リーコール対応の販社〔販売会社〕応援など若手社員にばかり行かせていますが、マネージャー、エキスパートクラスの人にも販社応援をさせるべきです。彼らは店に行っていない。下々の社員に店に行かせるのは本当にかわいそうだと思います（M、30代、事技〔事務・技術〕・乗技セ）

*雇用の確保、生活保障。リコール隠しに至った経緯と責任を明確にし、過去の責任をとってもらいたい（M、30代、事技、勤務先はその他）

*今は再建に向けて全力でやるだけ。その結果リストラされてもしようがない。リストラされたら自分はそれだけの人材であったと思う。一番不安に思うことは社員のモチベーションが下がること（M、30代、事技、乗技セ）

*会社の都合などで他企業へ就職が出来なくなるのは嫌だ。これだけの社会問題を起こして従業員が三菱自に残ろうとは思わない。将来的に水島、岐阜に行ったとしてもまた工場閉鎖を考えてしまう。リコール隠しもダイムラーは関係者も絶対に知っていたと思うので責任をとってほしい（M、30代、技能、生産）

*カネを出す銀行や重工の社員にしてみれば、4.7%の利益を上げるのは当たり前だと思う。近隣企業に早く求人の支援を求めるべき。（M、30代、事技）

*三菱自の先行きが不安、経営側の見通しが甘い。（リコール隠し）いいかげんいしろ（M、40代、監督・高技、勤務先はその他）

*再雇用に対する具体的な計画日程と内容、地元企業への受け皿がどの程度余裕があるか、現場のモチベーションの低下、（リコール隠し）問題が起きたとき隠さず公にすることができるようなシステムの確立を希望します（M、20代、事技・乗技セ）

*（不安、困る、望む）会社がなくなり職を失うこと。（リコール隠し）2000年のリコール隠し発覚以降、隠し事はないと信じてきた。今回すべてを明らかにしてほしい

い (M、30 代、事技・乗技セ)

*給与、ボーナスが今まで通りもらえるか、家を建てたり、これから子どもにお金がかかるので、お給料が減ってしまわないか不安です。(リコール隠し)「リコールはない」と発表した後も出てきてあきれています。三菱車が好きで乗っていましたが、最近では三菱の車に乗っていると恥ずかしいというか、周りの目を気にしてしまいます。身内に甘い会社の体質が改善される日が来るのか、がんばってほしいけど、あまり期待していません (W、20 代、家族)

*会社を辞めるつもり、その時の会社の対応、退職金などが知りたい (M、30 代)

*あまり詳しく聞いていない。あまり話したくない (奥さん)

*不安といえば不安だが、主人がいないので、どうとも言えない (奥さん)

*何も言うことはない。(リコール隠し) 会社には期待していない (W、乗技セ)

*しょうがない、高卒だからリストラの対象にはなと思うが…… (M)

*マツダでも回復して第二工場を再開した。岡崎をなくせば回復したとき困る、乗技セでは 14:30 ~ 1 時間対話集会、食堂の方で生中継していた、社長は今までイントロで流れていたものを読んでいただけて既に知っていることばかり。社長の朗読会だった。集会での意見はよく覚えていないが、印象に残ったのは「遺族の方に会社としてお詫びはしたが、全社員一人一言など寄せ書きをした方がよいのではないか」と言った人がいた。(リコール隠し) リコール隠しは上部がやったこと、それをなぜ現場の人が特別な負担を受けなければいけないのか、これは全社の問題だから、全員の給料を 10 % カットするなどしてみんなでやれないかと思う。これだとみんなも納得できると思う。何でそこの工場だけ・現場だけ (岡崎工場のこと) 犠牲を受けるのか差別だと思う。じんじんも新規採用を抑え、岡崎の経験者を乗技セに移すなどすればよいと言うと、なぜか、高卒だとか大卒だとにこだわるのか。私は大卒だが、みんな会社に入ってから職場で勉強して仕事がやれるようになってきている。高卒とか大卒にこだわらず乗技セに移して仕事を教えればよい。岡崎の人はみんな経験者だから十分出来る。これから開発など忙しくなるし、今も人手不足だから、私も関連会社や取引先などに仕事を頼むが、「こうなったから」と急に切るなんてつらい。何とかこの人たちの雇用を守ってほしい (M、20 代、乗技セ)

*先行きが見えない、人員削減や閉鎖など、再建に必要なのか具体的に分からない。再建策も上が勝手に思っていることで、自分らの意見が反映されているのか疑問。まず社内に知らせってから新聞等に発表すべきだ、(リストラ隠し) 私たちは上に上げている、上が止めている。品川 (本社所在地) が上に上がっていく、下は一生懸命やっている、責任をはっきりさせよ (M、30 代、事技・乗技セ)

*具体的なこと、数字などもわからんから、再建計画もこれでよいのか、再建計画が見えてこない。再建も品川だけでやられて、岡崎の意見など聞いていない。(M、20 代、乗技セ)

*上が変わらないことには、私たちのレベルでは仕方がない。下の方はやるべき事をしっかりやっている。社宅に今年入ったばかり、結婚して奥さんも仕事を辞めた。私一人の収入で苦しい。(M、30 代、乗技セ)

* (出かけるところで) 非常に心配している。労働組合が期待できない (乗技セ)

*水島から来た。「今の時代企業の都合により合わせなければ」と言われ、そういう時代なのかと思っている。名自 [名古屋自動車製作所] から水島は、私の場合と同じ、やむを得ないではないか。

*製品を造るにしても、工場で生産して造りあげていくことが必要ではないか、その

点で工場のラインをつぶすことはどうかと思う。

- * 会社がつぶれるのではと危機感がある。自分のことも（身の振り方？）考えているが難しい
- * 「安いモノを追求」は車全体の質の問題に問題があるのではないか
- * 私は岡崎生まれなので、工場が閉鎖されことに寂しさを感じる（奥さん）
- * 多くの若い人がやめていく、そのために仕事がどんどん増えている。（研究部門）
- * 雇用の確保、長期に生き残れるエンジンの開発を（M、30代、事技、生産部門）
- * 上層部の処分が甘い、意見が上層部まで行かない（M、20代、事技、乗技セ）
- * 将来の不安がある。（M、30代、事技、乗技セ）
- * 三菱なんてどうでもいい、近隣企業でもいい職を見つけろ、岡山→治工具→またどうするんや（M、20代、技能、生産部門）
- * 工場閉鎖したときの社員の働く場所をしっかりと確保してほしい。（リコール隠し）社員にしっかりと説明を新聞やTVの前に欲しい。（M、20代、事技・乗技セ）
- * 転職を考えている。将来40才、50才で、会社が倒産したら困る。今なら若いから、会社には未来がない（20代）
- * 今の状況が打開できるか、再建は本当にできるのか、言ったことを真に実行してもらえるのか。リコール隠しの時も生まれ変わったようなことを言って、今回も起こる。二度と無いと言われても信用できない。車種を増やすとかより、経営の考え方（リコール隠しはやらない、真相をはっきりさせる）の問題、生産技術、治工具は残る。生産ラインに限って移ると聞いている。水島から来た（M、事技、生技）
- * 状況はどうなるかわからんし、再建に向けて頑張るしかない
- * 治工具課はどうなるか？、例えば分社化等になるのか不安、決めることは早く決め連絡がほしい。社宅、寮は会社が何割か負担しているが、これは？、（リコール隠し）現場には紙切れや放送などでいろいろ説明を受けてきたが「これからみんな丸となって頑張っていこう」などで、ごまかしているような気がする、もっと具体的なことが知りたい。逮捕された人の罪が軽いのでは？（M、20代、技能、生産部門）
- * なぜすぐに TOYOTA へ連絡を取らないのか、生産関連の方々は TOYOTA へ又は関連会社に雇ってもらった方が収入増、生活も楽になって良いのでは？、その場合、居住地は岡崎市にすることが岡崎市にとっては最も良い、収入が増えれば消費も伸びる、乗技セは三菱と道連れ？、（リコール隠し）当時の元会長なども検挙しては？、ただ、三菱内の空気が昔からゆるいのは労働者サイドの問題、すべてが会社経営サイドの問題とは思えない、生産、乗技セ、販社すべての方々も思い当たる節はあると思うが。共産党のやり方が気に入りません、道路や人の通行のじゃまをしないで下さい、アンケートを配るとき「乗技セの人ですか？」と尋ねられましたが、なぜそんなことを聞くのですか？、そういった相手を信用しない一体感のなさが問題、この意味をよく考えてください、「共産」という割には行動がそうっていない、失礼なことも沢山書きましたが、こちらは真面目に答えています。ご苦労さんでした「『前照灯』の内容にも多くの意見を寄せている」（M、30代、事技、乗技セ）
- * つぶれるか生き残るかだから工場閉鎖はやむなし、乗技セも1/2にしてもよい。組合は役に立たない。アンケートの趣旨と違うのでアンケートには答えられない、（リコール隠し）社員には何にも知らされていないので責任はすべて上部のモノだ。社長との対話もありその場にいたが、質問は事前の代表質問で人が決められ、1人は30分も長々と意味のない事を質問、茶番だ（M、30代または40代、管理・特専、乗技セ）

- *乗技セは新車種をスケジュールを前倒しと言っているが人が足りない。組立から人をまわすというが人数が揃えば良いと上は考えていて話にならない。社長対話はTVだったが質問もできず、ホテルになる人もいた。コンプライアンスについての回答は「聞き置く」にとどまっている
- *職探しをしているが職は見つからない、職安に行くと見た顔がいくつかいる。みんな同じ考えだろう、自分は実家が岡崎だから配転は受け入れられない
- *名自だが、勤労なので配転にはならないが将来は不明、購買、生技とかあり、それらは当面残る
- *会社そのものが危ない、乗技セだからと安気にはなれない、危機感を感じている、職場全体がそう感じている
- *それ（「前照灯」に書いてある）のように感じている。非常に心配している、主人がいないのでアンケートはみせておく（奥さん）
- *私はよく分からない（奥さん）
- *話はよく聞いてくれる。現場（製作所）。トヨタの募集はどうか、トヨタならと思っている（奥さん）
- *家の者がいないからようわからない、私は心配している

〔職場の状況〕

- * 5/24（月）名製現場関係集められ、所長が再建策（岡崎閉鎖）説明
この際会社をやめる、もう少し様子を見てから、などの声。
- * 6/4（金）、11（金）一振替休日、6/18（金）、21（月）、25（金）一不就業日
- * 6/3（木） 13:00～14:00 過ぎ、社長と執行役員2名が名製社員と対話集会（体育館）、14:30～15:30 体育館と食堂（食堂はTV中継）で乗技セ社員との対話集会。
対話集会では、今まで発表の再建策（目新しいものはなく、すでに知っていることばかりとの声）を社長が説明（乗技セでは、社長の朗読会との声も）
名製で5人が質問、最初の2人は事前に会社が準備した質問者と感じた。
 - ・プレス工場、バンパー工場をどうするのか？など、検討中と具体的な答えがなく、詳細は言わない
 - ・「再配置で1800人の雇用は守ります」
 - ・「近隣へはやらないが、個々には行けないなど問題があるので、個々には考えていきたい」（有賀）
 - ・「早期優遇退職は検討課題です」
 - ・「リコール隠しは100%とは言えないが、97～98%は大丈夫です」（自信がなさそうな答え）
 - ・「1000人水島、100人岐阜、200人京都、など言ったことはない、まだ決まっていない」

対話集会では3人が質問し、14:00になり終わろうとしたが、1人の労働者が「最後までやらせろ」と叫ぶと、大きな拍手が沸き起こり、14:00過ぎまで2人が質問できた。

*職場の様子

- ・三菱重工や三菱電機で雇用してくれないか
- ・昼休みパソコンでみんなが求人情報を見ている
- ・退職条件（50才以上は会社都合か、転職助成はあるのか、など）を組合に聞きに行っている
- ・30代位の人は次のところを探している
- ・昨年入社した若者は「まさか1年位でこんなことになるとは思わなかった、もう

やめる」

- ・残ったって何にもならない
- ・家のローンがあるし、今度はパジェロへ行く
- ・5/31（月）組合の移動事務所をやった。いつもは職制ぐらいしか集まらないが、休憩室には入りきれないくらい人が来た。組合役員は「今日は多いなあ」に「何を言っているのだ、俺らの気持ちわからないのか」と怒りの声、「（組合は）会社の言うことに理解を求めるだけやから腹が立つ」、「近隣へもやりません」と組合が言うので「組合の考えはないのか」の声、「1日に1カ所ぐらい職場を回れ」の声に、そのご組合は各職場の休憩室を回っている
- ・（滋賀）またリコールだがや、この先三菱は残るのか、誰も買わない、買い替えないぞ、若者はこのまま残っていて良いのかと悩んでいる。国内では再生の見通しが持てない、単身赴任の条件（手当を10年でも付けよ）を良くせよ、信頼回復はこのまま行ってもできないぞ、パジェロの人は2回／月帰れる、三菱自は1回／月しか帰れない、滋賀でも4割位の派遣等が入っている、それに振り替えて社員の応援が入っている、玉突きとなっている、水島も1000人位派遣等がいると聞いている、再配置で玉突きとなるのではないか

実施日：2004年6月13日〔日〕 晴天

実施社宅：大府社宅〔13：00～16：00〕 村上大府市議ほか4名

入居者状況：20～30代がほとんど、技能職が多い パジェロ社員 栃木富士産業
ジャトコ社員などや 中国研修者〔?〕あり

*会社の存続 転勤 収入の安定 直接員はなぜ会社都合で、退職できないのか。
安定した会社に転職したい。

早く倒産してほしい。こんな、人殺しをする会社はあってはならない。もし再建に成功したら被害者の家族にしてみたら、余計に許せないと思う。

*販売店がつぶれるのに車を作っても仕方ない。

*水自に応援にいつている。職場の風通しを良くしなければいけないが、簡単にはできない。

*一部の上層部の責任だ。現場の労働者に責任はない。私は1回目は販売へ応援、回目は岡崎、これで閉鎖はたまらん。一人ひとりが、有利になる仕事を示すべき。上層部もあるが、職場の雰囲気も悪い。辞めるときは、会社都合にすべきだ。

*政党絡みには答えられない。趣旨には賛成だ。

*何もいうことはできない。

*栃木富士へ変わった。給料5～70000円下がった。大江工場の時も運動してほしかった。岡崎工場閉鎖しないよう頑張ってください。

*水自〔水島自動車製作所〕へ出張中、仕方がない。なるようにしかならない。

*会社信用できない。現場では、月に1～2人辞めてく。退職するか残るか迷っている。もう少し時間をかけて考える。

*私はどうなるか心配しています。主人留守なので後で書いてもらいます。

*僕は水島でもどこでも行くつもりです。仕事探してもいいところ見つからない。職場では家のある人、ローンどうするとか、家をどうすると悩んでいる。ハローワークにも、沢山いつている様だ。

*主人は岡山へ単身赴任で言っている。二重生活で生活厳しい。私が働かないと生活できない。塾や教育にお金かかりこれからも大変。私の想い後で書いて送ります。

*主人はどこでも行くしかないと言っています。私は親兄弟がこちらですからこちら

にいたいです。

- * 丹治所長は、今度辞められると聞いた。所長は「今後のことは保障する。」と言っていたのにどうなっているのか。今後のことを早く決めてほしい。
- * 自分達ではどうにもならん。「いやなら辞めろ」といわれる。
- * 会社都合で辞められるようにしてほしい。トヨタへの、話があるといい。ボーナスどうなるか心配。
- * 他社への就職斡旋があれば、いつでもそこへ行きたい。
- * 名古屋周辺で雇用はないのか。？ 会社の不祥事で離職を考える人が多い。退職金は会社都合で払ってほしい。ここまで世間、顧客のことを考えない企業はないのではないか。
- * 会社が残るために、グループで、一生懸命やっているんだから今の時点であまりワーワー言っほしくない。あんたたちは何をしてくれるの？ 必ずいいこと来る。つぶれてもおかしくない所を救ってくれるのだから。6月29日の株主総会が終わってから救済の詳細わかってから言えればいい。グループの再建策が、自分たちの責任・・・・・・・・経営陣に責任とらして・・・・・・・・つぶれてもいいところを救ってくれた。水島いけパジェロいけ 言われればいく。ボーナスもでるじゃないですか。倒産しているところいっぱいある。そこではフリーター生活だ。アメリカでは、UAWが強いからやれない。
- * 親が三菱重工だった。地元だから他所へはいけない。思案中である。
- * リコールは一度に出た数が多すぎる。[技セの妻]
- * 今回のリコールはヴェルブの不具合とか程度の軽いものも入っている。程度の重、軽は新聞は書かず、22件とか言うだけ、マスコミは売ればいいと考えているのではないか。聞いた話だけれど「昔のリコールは出すな」と通産省から言われたらしい。昔の案件まで出すと他社が困る。
- * やったことは悪い、発言は自由にできている。上での決済が、下には連絡がないのでそこが問題だ。
- * 三菱自販のほう心配、自販が縮小したら車を作っても仕方がない。自販の赤字は、2003年下期赤字2億円。それが今年は、10月で2億円の赤字らしい。もうダメだ。
雪印みたいに名前が変わってもいいから、職場が残って欲しい。
- * パジェロは何も悪いところはなかった。いい車だ。
- * 三菱自動車は、他社に比べてオオバースペック〔品質要求が高い〕が多い。他社はもっと低品質でもOKにしている。

寄せられたFAX、手紙

- * せっかく大企業に就職したのに、上の人達により私たちが失業しなくてはならなくなってしまった。今はまだ工場が動いているものの金曜日まで休みになりその分給料は減る。家族がいる分養うのも大変になる。他社への転職を考えているが、辞め時が困っている。三菱が斡旋してくれるのか、もう自分なりに探して移ったほうがいいのか。
早く対処してくれないと生活していけない。一番早く知りたいのは次の会社への斡旋のこと、トヨタは受け入れると聞いたものの本当なのか。？ 正社員でとってくれるのか、
市として協力して早く知らせてほしい。

*リコールは、どこの会社でもあることだと思っていたが1度や2度ばかりでなく「次々と」となると、「何で」と思う。私たちは、何も悪いことなく一生懸命会社のために働いてきた。なのに三菱はもうダメだと言われる様になり、今までの頑張りが上の人達によりすごい損害になってしまった。

*再建の為工場閉鎖は、やむを得ないとは思いますが、雇用の面ですごく曖昧な部分があるのが訳がわかりません。2006年工場はなくなり、他工場へ移動できる人ばかりではないのに、ほとんどの人の雇用を三菱だけで確保するという言い方をしていました。

岡崎工場を閉鎖する意味に、最初のTV会見では、「三河地方は他企業への就職率が高い、協力を求める。」と言っておきながら三菱でできる限り確保したい・・・なんて。外面のいいことばかり言わないで、他企業へ協力を求めてくれないと三菱を辞めたい人が、働けなくなってしまうのではないのでしょうか。工場閉鎖されるのに退職するときは、自己都合になるなんて、なんだか納得いきません。

*次々に出てくるリコールあきれ返ってしまいます。「良くぞここまで隠すことができたな」とお客様だけでなく、社員の信用もうありません。社員も・・・迷惑です。一番望むことは、その事に関わった人すべての幹部の謝罪と処罰、それからすべてを明らかにして欲しいということです。三菱の車は、殺人車なのですから。

*今年の3月まで夜勤があり、収入にも少し安定していました。なのに1勤だけになり、6月は金曜日も休みなんて、あきれってしまいます。

技能職は残業もあまりなく、休みが多いのに技セのほうでは残業、平日休みなし、と雇用の面でこんなに差が出ているのには、すごく腹が立ちます。同じ三菱社員なのに・・・

家庭にとっては、本当にいい迷惑をこうむっているだけです。これだけの人に心配や迷惑をかけているのだから、再建するのであれば、再建に向けてやるべきことをきちんと行って欲しい。社員にとってももっと社員から意見を取り入れ見直して欲しい。一番ベストなことをして欲しいと願うだけです。

*6月4日社員を集めて、社長への意見会のようなものが開かれたようですが、幹部は、社員の質問についてきちんと答えられなかったそうです。いったい何を考えているのか、この先不安でなりません。

サービス残業も、実質あるそうです。賃金はきちんと支払われるべきです。作る車がないのになぜ残業があるのでしょうか。バブルのとき、誰でも社員を入れたため、現在「働けるもの」が、仕事を全部背負っているようです。

*不安に思うこと・三菱自動車の倒産、困ること・職を失うこと

望むこと・三菱自動車以外で働きたい〔もう信用できない〕正社員で働けるところを斡旋して欲しい。

*会社が罪を認めなく、社員に対しても自動車でなく「ふそう」が悪いというばかり、これでは再生どころではなく倒産の道へ進んでしまうと思う。

その他

*何十年も単身赴任はできないから、再就職を考えなければ。

*ハローワークで条件を入れていくたびに求人が消えていく。まともな就職先がない。

*家のローンがある。生活どうするか不安。俺たちには責任はないのに。機会を見て仕事探しをする。

*転進助成制度はないのか。退職条件は良くならないのか。などの話が良く出る。

* どこも再就職できないので、どこでも行くしかないが納得できない。

〔滋賀応援者〕

* 先行きに不安。転職を考えている。友人に相談して、条件よければ変わりたいと妻に話している。

* 10月までに条件が全部出て考えるが、会社が再建できると考えるのは、甘いかもしれない。怒れてくる。

* 名古屋へ帰ったらいつもハローワークに行っている。妻は名古屋〔地元〕で働いているので、そこを離れることはできない。

* 先行き不安。家が岡崎だし動きが取れん。近隣企業に何とか転職できるように会社に努力して欲しい。岡山とかパジェロ製造なんて行けない。

* 「車のローンは大丈夫かね。社員は心配だね。」といわれた。期間社員に心配された。

* 賃金カット、一時金カット。でこれ以上はないのではないかと。倒産はないのでは。

* 現在、滋賀のほうへ応援に行っているが、今現在と同様に、単身赴任となり、家族〔子供たち〕と触れ合う時間があまりない。近隣企業への受け入れなどの話を、再建してもらいたい。冬のボーナスが無くなるという事であるので、せめて現時点でも早期〔会社都合での〕退職という形にしてもらいたい。まだ家のローンが、25年も残っており給料を5%もカットとなると、生活できるかとても不安です。

リコール隠しは非常に腹立たしい。お客様の身になって、車を作っているはずなのにこれでは、世間全体を敵に回すのではないのか。一度信頼をなくすと、元に戻すことは今現在では厳しい。変に三菱というブランドにこだわらず、一からやりなおした方が良いのではないかと？

* 私の考えですが、今現在の時点で三菱自動車という会社が、あと何年あるのか？という感じで受け止めている。果たして5年後、10年後に会社自体がこの世の中で認められることができるのか？。

もうひとつの考えは、仕事をなくすことよりも家族とのコミュニケーションを第一に考えてますので、6月17日現在では、就職先が見つかり次第退職する方向で考えています。これ以上遠隔地に振り回されるのはもういやです。

あと質問ですが、岡崎工場は前倒しで、閉鎖ということがニュースで報道されていますがいつ頃なのか。

最後に近隣企業への受け入れ、ぜひ検討してもらいたい。社員〔生産部門〕をどこへ受け入れても恥ずかしくないと思う。もっとプッシュして欲しい。

三菱自・追加再建策発表後の職場状況

〔岡崎工場〕 6/16、15:00 ～対話集会 所長と組合執行委員（見学者ホール、椅子を無しにして満員） 所長が社長のメッセージを代読、「二つのことをお願いする、賃金カット（一般社員5%、管理職10%）と冬のボーナス無しとする」、組合は「了承する」と発言、労働者の1人が「委員会も中央委員会開かず、どこで決めたのか？、かつてに労働条件の改悪をやって良いのか？、組合は法を守らなくて良いのか？、所

長も答えよ」と発言。みんなも「答えよ」と言っていたが、何にも答えず。

6/17 職場集会、60人位（いつもは15人程度）集まった。5人が発言、「2年後の生活はどうなるのか」「組合は組合員の現状を知っているのか」「ローンを抱えている人の対応を考えているのか」「水島やパジェロについて行った先はどういう保証があるのか」「退職金は保証されるのか」「賃金カットすれば車が売れるのか、車が売れないのは……」など、

組合は、「組合が賃金カット飲んだのは投資家が金を出さないから、リストラを飲まないかん」と説明。

*やめればやめたいという雰囲気

*ボーナスも来年から無いかも知れな、出ても10万とか20満とかい

*頭の中では「残っても将来的にどうなるのか」がある

(滋賀工場) 6/16 午後集会、「これが最終策」と。組合は「6/24(?)が投資の振込日、この3点(賃金カットなど)をやらないと金を出さないとわれ、飲むよりしょがなかった」と説明。集会の最後に司会者が「礼」と言ったが、礼など出来るのかの気持ち(岡崎では「礼」などない)

*「見切りをつける」が大勢

*「三菱は立ち直れないだろう」と思っている人が多い、家族とも話し合っている

*「新聞見て帰りにハローワーク行く」という人、40代だと「期間社員はちょっといけない」という雰囲気もある

*ある期間社員の人は「俺は半年で(期限が)終わるけど、社員の人は気の毒」と

*追加策は「社員が見切りをつけるための出した」と多くが思っている

(岡崎工場)

*6/17 出勤すると、休憩室で求人雑誌を広げて話し合っている

*今は「職探しに行かないかん」という雰囲気

*イントラで退職届用紙を引っ張り出していた

*商工会議所の窓口に行こか、1人ではよう行かんので4、5人で行こかと話し合っていた

*作業班(プレス)の親睦会を解散して、回避の積立分をみんなに配った

*「Iさんらに頑張ってもらわないかん」とも言われた

*他の職場でも20代の人はほとんどが会社をやめる方向で考えている

*賃金カット、年末ボーナス無しで、この夏のボーナス貰ってやめる人が多い雰囲気

*社員がやめるよう「会社の手だ」

*組合も選挙どころではない、推薦用紙を最近配ってきたが「みなさん出して下さい」と言うぐらいで、いつもはしっこくやるが。今回はやっていない

*ある職場では10人位が退職する様子

*ボーナスが出ないではローンが支払えない

*職場委員が「こんなことやっている場合ではないけど」と選挙ハガキを持ってきた

(岡崎工場閉鎖問題) 鳴海社宅 聞き取り調査・アンケート結果

6月20日(日) 14:00～16:30 参加3人

*再配置策、私は働いているので奥さんの仕事はやめよということか、閉鎖は家庭の犠牲が多い、上の方もあまり変わらない、下の犠牲で不満を感じる、クレーム隠しは実際にやっているのは上層部、こちらでの就職斡旋があれば良いけど……、共産

党の働きかけ頼みたい

*望むことは、雇用確保、行き先は自分で選べるか、あまり行きたくないけど、妻も心配している、5%カット・冬無し、話が違うと思うじゃないですか、だからやめていく人がいる、一部の人間のせいでこんなになって、下が犠牲となる、我々の声も聞いて決めて欲しい(20代、技能、ライン)

*ボーナスカットとか給料5%カット、配属先をたらい回しにされて、金もない仕事もつらい(30代、技能、ライン)

* (ドア越しで聞き取りにくい中) どうすれば良いか政策を言ってくれ、犠牲、犠牲と言うがどうすれば良いのか、具体的にどうすれば良いのか、工場は無くなるし、給料カット、どうしたら良いか、深刻な問題、他人事と思っているのではないか、どうしたら良いか政策を持ってから来い。我々の声を聞いてと言うが、幹部の意見を聞いてそれから来るべき(閉鎖を非常に深刻に感じている様子)

*会社が違う、ふそう(江バス)、私らではどうしようもない、私ら一生懸命やっているのに、私らではどうしようもないので書くこともない、日曜版は購読している、

*会社が違う、栃木富士、仕事が減ってくるのではないかと心配している、社宅も2年半で出ないといかん、準備している、こちらに変わって給料は減ったと思う、今はその日によって残業時間も変わる、閉鎖の情報は新聞で知るぐらい、職場でもあまり話題になっていない

* (奥さん) 考えてFAXするか?……Nは実家が読んでいる

* (出かけるところ) 私は会社が違う(ふそうバス) 関係ないので……と出かける

*昨年9月に転職したばかり、開発なので一応残る、ボーナスがない、賃下げ心配

*1カ月後に会社をやめる、車関係に前から見きりをつけていた、退職金は出るだけでよい

*水島に単身赴任中、10月まで、その後は分からない

*リストラは全社的に、社員が悪いのではない、トヨタグループで何人か採用してくれる?、インターネットで職場でやっている、試作工場にするのでラインは撤去か?

*現場もやめる方向で、若いので自己都合だと30%位、8月からハローワークの予定、三菱の専用窓口があるらしい、友人は車関係の職場へ転職した、リコール腹がたっても後戻りできない

*現場で働いている、メールで社長に直訴したが回答はまだない、水島は緊張感なく三菱は将来ない、日産に行った人もいる、自己都合退職金は上がった、「このデータはまずい」と品質保証が文句を言う場合もある

*今年1年様子を見てやめるかも、40代、50代の人は大変、

*奥さんは事技、主人は開発、先行き不安

*不満がいっぱいい、転職などまだない(事技)

*年末まで待って近隣企業で働く、他場所へは行けない(奥さん)

前照灯

第34号
2004・7月

日本共産党
三菱名義部

連絡先
日本共産党
愛知県支部
052(261)3461



三菱自動車は労働者を犠牲にするな 三菱自動車、三菱重工、国土交通省、経済産業省、厚生労働省に 企業倫理・社会的責任を求め 申し入れ

三菱自動車工業（株）

社長 岡崎洋一郎様

2004年6月25日

日本共産党愛知県委員会
委員長 田中正己

企業倫理、社会的責任を厳しく求める申し入れ

貴社は、5月21日「事業再生計画」を発表し、「岡崎工場の車体生産を2006年度までに終了」と明らかにされました。このことにより、そこに働く労働者はもちろん、下請け中小業者、関連業者、地域に大きな衝撃を与えています。その後、6月16日には、「事業再生計画達成のための追加施策」が発表され、いっそうの衝撃を与えています。

事業再生計画を発表するに当たっては、自動車産業全体の流れだけでなく、特に、貴社のリコール（無償回収・修理）隠し・欠陥車隠しが大きく影響していると思われます。この点では、利用者（ユーザー）にも大きな衝撃と不安を与えています。事業再生計画発表後、リコール（無償回収・修理）隠しによる死亡事故などによる幹部の逮捕が始まっています。さらに、6月2日、3日には、乗用車部門のリコール隠しも明らかになりました。この間、分社する前の大型トラック、バスのリコール隠しが問題になっていましたが、この分野でもその後新たなリコール隠しが明らかになりました。これらは、明らかに幹部の責任であり、その責任を幹部自らがきちんと果たすことが必要です。ましてや、その責任を、労働者、下請け中小企業、関連業者、この間協力してきた地域住民に押し付けることは絶対にあってはなりません。

そこで、ルールある経済社会実現をめざす私たちは、貴社に対し、下記のことを申し入れ、回答を求めます。

- 1 リコール隠しなど不祥事がなぜ起きたのか、その全容を明らかにすること。
- 2 幹部自らの責任を明らかにすること。
- 3 労働者、下請け中小業者、関連業者、地域に責任を押し付けることのないようにすること。

以上

連絡先 日本共産党愛知県委員会 江上博之

052-261-3461

去る六月二十五日、日本共産党愛知県三菱リスト対策委員会・参議院議員秘書、岡崎市議員三宅ととも、日本共産党三菱名古屋支部の代表が、岡崎工場を訪れ、岡崎工場閉鎖問題について丹治所長に申し入れを行いました。

三菱重工や各省庁にも同内容の申し入れ

六月二十八日には、三菱重工、各省庁に党三菱名古屋支部の労働者へのアンケートで出された意見や、FAX、郵送で届けられた要望、職場で話し合われた労働者の思いなどを

原因と責任明らかに なぜこうなったのか 申し入れは、リコール隠しなど不祥事がなぜ起きたのか、全容とその責任はどこにあるのか

を明らかにして対策を立てるべきではないか。

「全容をあいまいにしては、ラインアラウンド計画と同じ様に労働者、協力会社を犠牲にする方向になってしまふ」と各々の立場から全容を明らかにする様申し入れました。

③ 三菱重工は大株主で創立以来経営に携わってきた。三菱重工の名古屋地区で雇用することが社会的責任を果たすことではないか。

④ 近隣企業（トヨタやその関連企業など）に三菱として、仕事と雇用を依頼するために、幹部は頭を下げるべきだ。等々

これらの声を、三菱自動車、三菱重工や各省庁への申し入れ時に届け、話し合い、厚生労働省では、雇用保険などは、「会社都合」扱いにする様検討している旨の回答がありました。

労働者の声を聞き、対応を

日本共産党三菱名古屋支部のアンケートや対話で、労働者の思いが寄せられています。

⑤ 6月16日の追加施策、賃金5%削減、年末一時金支給中止は頭を殴られた様な気がする。労働者の生活を考えない一方的なもの。今まで一時金低額、福利厚生削減など充分犠牲になって来た。俺達に辞める様仕向けているのか。

追加策が出されてから退職を決定する人が増えています。ハローワークに行っても期間社員が派遣社員。残るか、辞めるか、不安いっぱいです。組合員は辞めざるをえないほど深刻な事態。

労働組合は、会社の言い分のみでなく、組合員の声実現のため頑張る時ではないでしょうか。

⑥ 雇用を守るといっても一方的に水自・パジェロ・パワトレ（滋賀）へ行けては雇用を守ることにはならない。

⑦ 生産削減、不採業、危機感をつのらせ「しかたがないか」と退職させようとしているのでは。

最近の赤旗記事紹介

しんぶん 赤 旗

04.6.23 付

(第3種郵便物認可)

三菱自は労働者犠牲にするな

奥さんの声

◎私も働いて生活しています。主人に水島や滋賀へ行けということ。私に仕事をやめよということか。それともこれからずーっと単身赴任せよということですか。

◎ここまでフリーム隠しているとは、本当に社会に対し顔向け出来ない。社宅だから地元の人も良く知ってる

子供が学校でいじめにあわないか本気で心配しています。

◎幹部のあやまりの会見はあったけどなせフリームが起ったのか、誰が悪いのか発表がない。社会へのお詫びもない。責任者が処罰されない。世間は許してくれないし会社の再生も出来ないのではないですか。

夏の一時金 わずか四万円

40年以上働いて夏のボーナス出るには出たが、税金、年金、ローンを引かれて残り四万円。会社の偉いさんの不始末でこれだけひどい目にあうとは、これで給料をカット、年末一時金0ではローンのぶん勤務へ持ってこいとされるがどうするんだ、生活できんよ。

ハローワークに行ったけど

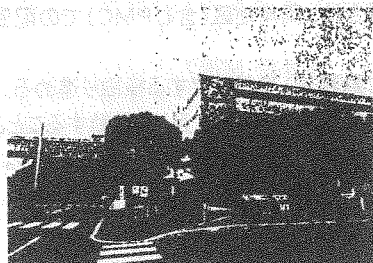
会社を休んでハローワークに行っただけ、三菱の人何人もいたよ。でも、条件を色々入れていくと求人欄がなくなっちゃう。

期間社員ならあるけど、会社が本気で地元で仕事を斡旋すべきだよ。子供の教育や、女房の仕事、えると地元ではけ水は困る。

愛知・岡崎工場閉鎖を前倒し

党支部が批判 社会的責任果たせ

リコール隠し・欠陥隠しが次々と明るみに出た三菱自動車は、大日、資金のカットや年末一時金の見送り、愛知岡崎工場を二〇〇五年度中にも閉鎖すると発表しました。五月に発表した閉鎖計画を一年前倒した内容です。日本共産党愛知支部古庄自動車製作所支部は、「三菱自動車、クルーズは社会的責任を果たせ」労働者、下請け企業に犠牲を強いるな」とたたかいを呼びかけます。



自動車生産ラインの閉鎖が発表された三菱自動車岡崎工場（愛知県岡崎市）

人の命奪われ

「生産ラインには顔をみせなさい。お前をだまそうぞう」と石で投げつけられ、と酷い暴行を受けるのは、岡崎部門で働く男性だ。一人の命が奪われている。本気で死ね、と叫ぶ。本気で死ね、と叫ぶ。本気で死ね、と叫ぶ。

退職金が6割

三菱自動車労働組合は、労働者に犠牲を強いるリストラ計画を撤回させるため、自動車を壊すという脅威をもち、組合員にリストラ計画を撤回させるよう呼びかけています。

《アンケートの声》

- ☆一部の上層部の責任。私は一回目は販売へ応援、二回目は岡崎。これで閉鎖はたまらん。
- ☆正社員の（再就職）口が見つかるよう、三菱からトヨタへ頭を下げて働きかけてほしい。
- ☆雇用の確保、生活保障、リコール隠しに至った経緯とその責任を明確にし、過去の責任をとってもらいたい。
- ☆冬のボーナスがなくなるといふことなので、せめて現時点でも早期退職（会社都合での）という形にしてもらいたい。

参議院議員の選挙法の関係で記事が一部削除されています。

意見 相談 悩みは

- * (FAX) 052-733-2982
- * (Eメール) rokugouta@nifty.com
- * (郵送) 右記住所（切手負担をお願いして恐縮ですが）

〒460-0007

名古屋市中区新栄 3-12-27
日本共産党愛知県委員会（気付）
日本共産党 三菱名古屋支部 行き

名製人員対策の件

1. 背景・趣旨

事業再生計画に基づき、生産能力の削減のため、岡崎工場の車体生産を2006年度までに終了することを決定したが、国内販売ボリュームの減少の下振れリスク吸収のため、2005年度中に全ての移管を完遂すべく、スピードを上げて施策を実行することとしている。

同時に2004年度下期については、約500名の余剰人員が発生する計画であり、抜本的な対策が必要な状況にある。

以上のことから生産に係る人員について、以下のとおり人員対策を全社的に実施することとしたい。

2. 基本的考え方

- (1) 社内再配置(水島・京都・滋賀・PMC等)による雇用機会の確保を原則とする。
- (2) 社会通念上、居住地変更が出来ないと会社が判断した場合は、岡崎地区(含むPMC)での配置転換を実施する。
- (3) 原則2004年10月1日には、対象者全員の移動先(含む勤務先)等が決定する様取り進める。
- (4) 車種移管に伴う人員対策については、原則車種移管時(2005年7月～12月)に異動することとする。
- (5) 2004年度下期余剰人員対策としては、意向調査の結果によって、車体生産に影響を与えない範囲で、
2004年10月1日以降、随時、異動することとする。

3. 具体的対策内容

(1) 要対策人員(2004年7月1日時点)

	直接員	間接員		合 計
		生産間技※	作業長	
名製	1,214名	127名	47名	1,388名
品統本	—	148名	6名	154名
合 計	1,214名	275名	53名	1,542名

※生産間技：保安、工程管理、品質管理部門

(2) 移動先及び移動人員(目処)

派遣元	移動先(地区)等	移動人員	適用内容	実施時期
名 製	PT製(京滋地区)	90名	転 任	車種移管対応 2005年7月～12月(予定) 2004/下 余剰人員対策 2004年10月以降随時
	" (水島地区)	60名	転 任	
	水 製	1,200名	転 任	
	P M C	250名	退職派遣	
合 計		1,600名		

(3) 取扱い：社員就業規則、諸規則、諸取扱いを適用する。

(4) 社内再配置を受け入れられない場合(再就職希望者)を想定し、自己都合退職を前提とした近隣企業等への紹介を検討する。

4. その他

- (1) 人員数、対策内容、実施時期については現時点での計画であり変更もあり得る。
- (2) 移動先・移動人員・実施時期等の細部事項については当該事業所・支部間で協議する。
- (3) 具体的対策に当たって、寮・社宅等福利厚生面については不具合無く対応する。
- (4) 専技社員(123名)、技能系スタッフ(56名)は全社的な観点から再配置を検討する。

られることを恐れて、加わるようだ。今回の様子はそれと同じに見える。

一億総いじめっ子現象とでも名付けた。確かに安全よりも利益を優先した三菱の姿勢は決して許されることではない。十分に反省し、根本的に体質を変え、捲土重来を図って欲しい。

我々も、戦後経済を世界有数の地位にまで高める一翼を担った「三菱」の功績を忘れてはならない。いたずらにいじめただけでなく、国家や国民の責任として再建に力を貸してもいいのではなからうか。

認めてほしい
再生への努力 7/3

主婦 加藤 敦子

(名古屋 43歳)

夫は三菱自動車のエンジニアです。今や連日の三菱バッシングに身が裂かれる思いです。エンジンに夢を描き、黙々と開発を続ける夫の姿勢は家族の誇りで、

三菱の車が走る姿に喜びを感じていました。ところが一転、社員ですら目を疑う事実が白日の下にさらされることになりました。

亡くなった方は、とうてい三菱の自動車を許すことは出来ないでしょう。「走る凶器」などと言われ、息も絶え絶えの三菱車を、傷だらけになりながら必死で支えようとするエンジニアの魂まで世の中から抹殺しないで下さい。

夫は「今の自分には、これまで通り、性能のいいエンジンを開発することしかない」と精いつばい頑張っています。一部の心ない幹部とは程遠いところで、日夜命を懸けて働く人たちの再生の姿勢を受け止めてもらえないでしょうか。

三菱自動車の一員として取り返しのつかない事故を起こしてしまった責任と、再生を願って苦悩する夫たちに、容赦なく浴びせられる報道に涙せぬ日はありません。

三菱の再生は
真の反省こそ 7/7

無職 四元 信紀

(岐阜県 64歳)

声欄に掲載の「三菱いじめは功績忘れずに」や「認めてほしい再生への努力」を読んだ。だが私は、何よりも利益第一主義を正す必要があると感じている。

なぜ、「いじめっ子現象」とか「バッシング」などの抗議めいた言葉が飛び出すのか。今問われているのは、元社長の刑事責任だが、それと切り離してエンジニア魂や誇りを言うなら、会社が丸となってユーザーの安全第一を貫徹してからにしてほしい。

三菱自動車は、ハブやクラッチハウジングの欠陥を隠し、死亡事故を起こした後も、リコール隠しを続けた。内部告発があつた2000年にも、1977年からクレーム関連情報の大半を隠していたと当時の運輸省から指摘された。

「再び過ちを繰り返しません」と謝罪広告し、「まじめ、まじめ、まじめ」というキャッチコピーでユーザーを欺き続けた。「三菱の功績」や「再生への努力」を言われても素直になすけない。

今回は内部告発も機能しなかった。その安全思想、モラルの欠如を反省する声こそ聞きたかった。温情主義や過去の功績をいたまぜに論じていては、問題の真の解決を妨げるばかりだ。





「欠陥隠し」で 労組の責任は 6/24

弁護士 井上 二郎

(大阪府 67歳)

三菱自動車グループの欠陥隠しで経営者の責任が社会問題になっているが、ここで看過してはならないもう一つの問題がある。それは労働組合、とりわけ大規模労組の怠慢の問題だ。労働組合が労働組合らしく、経営に対する監視機能を果たしていれば、欠陥隠しという経営陣の反社会的行為は阻止できていたはずだ。欠陥隠しが長年にわたっていたことからみると、労働組合も当然、欠陥問題を知っていたと思われる。経営者が刑事責任を問われるのは当然としても、三菱自

動車労組の幹部もその社会的責任を問われてしかるべきではないか。組合員のために経営陣と対峙し、経営に不正があれば、それを正していくのが労働組合の社会的責務であるはずだ。

今般の問題で誰もが、労働組合はいったい何をしていたのかと、労働組合不信を一層募らせるであろう。これに三菱自動車労組幹部はどう答えるだろうか。ともあれ、これを機会に三菱自動車労組も加盟するわが国最大の労組ナショナルセンターを自称する「連合」は、労組の経営監視機能の問題を真剣に考え、その結果を公表してもらいたい。昨今、大企業の経営破綻が相次いでいるが、その企業の労組がそれまで何をしていたのかの検証も必要だ。

積極的安全策 お役所も怠慢 6/25

無職 鈴木 文祐

(愛知県尾張旭市 78歳)

三菱自動車製大型車のクラッチ系統の欠陥による死亡事故を巡って元社長ら元幹部6人が逮捕された。欠陥部分を改善せずに放置したメーカトップの責任追及は当然だが、私は監督する立場にあった旧運輸省(国土交通省)の役人にも責任があると考え。役人は国民の税金を支給され公務を託されている。国民に代わって自動車メーカを監視する義務が生じるはずだ。事故起きた後の、リコール届の有無など細かな問題だ。利用者の安全を守るため、車体や部品の強度などに関し、具体的な指針を示すべきだった。事故後にメーカに「資料を出せ」と迫るだけではなく、「数値を示した技術的な助言」をする義務を担わされていると思う。

自動回転ドアの事故を巡っても、痛ましい犠牲者が出るまで役人は欠陥を見逃さしていた。積極的安全対策への義務を怠ったと言われても仕方がないだろう。

三菱いじめは 功績忘れずに 6/30

私大講師 河合 克己

(愛知県半田市 69歳)

最近、リコール隠しをしていた三菱自動車に対する非難や批判が政府、報道機関など各方面で、声高に語られている。もちろん、欠陥が原因で人命を奪う事故が発生するなど、事は重大であることは言うまでもない。

しかし、これは一種の集団いじめではなからうか。子供たちが、ちよつと弱そうな子をみんなで非難したり、無視したりしていじめているのと大差ないと思う。子供の場合は、集団に同調しないと自分がいじめ

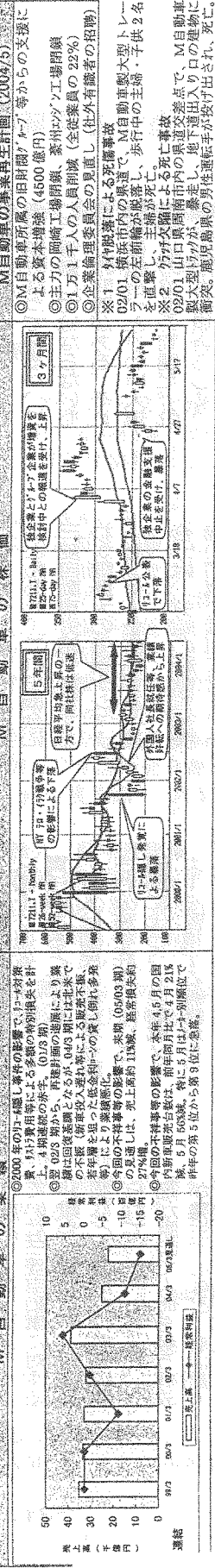
M自動車のリコール隠しについて

平成16年6月7日
添付書類
総務部

1 経 緯

1992	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004
過去のリコール隠し ・11車種 ・約620,000台	最初の大型車のリコール隠し ・約134,000台	最初の大型車のリコール隠し ・約134,000台	最初の大型車のリコール隠し ・約134,000台	最初の大型車のリコール隠し ・約134,000台	最初の大型車のリコール隠し ・約134,000台	最初の大型車のリコール隠し ・約134,000台	最初の大型車のリコール隠し ・約134,000台	最初の大型車のリコール隠し ・約134,000台	最初の大型車のリコール隠し ・約134,000台
最初の大型車のリコール隠し ・約134,000台	最初の大型車のリコール隠し ・約134,000台	最初の大型車のリコール隠し ・約134,000台	最初の大型車のリコール隠し ・約134,000台	最初の大型車のリコール隠し ・約134,000台	最初の大型車のリコール隠し ・約134,000台	最初の大型車のリコール隠し ・約134,000台	最初の大型車のリコール隠し ・約134,000台	最初の大型車のリコール隠し ・約134,000台	最初の大型車のリコール隠し ・約134,000台
最初の大型車のリコール隠し ・約134,000台	最初の大型車のリコール隠し ・約134,000台	最初の大型車のリコール隠し ・約134,000台	最初の大型車のリコール隠し ・約134,000台	最初の大型車のリコール隠し ・約134,000台	最初の大型車のリコール隠し ・約134,000台	最初の大型車のリコール隠し ・約134,000台	最初の大型車のリコール隠し ・約134,000台	最初の大型車のリコール隠し ・約134,000台	最初の大型車のリコール隠し ・約134,000台

【参 考】



2 問題点等

- ① 相対的隠蔽体質
2001年、M自動車はリコール隠しを受け、謝社長ら4名が道路運送車両法違反で逮捕、罰金刑に処された。この事件を踏まえ、当時の社長は「信頼される会社には立て直した」と外資系表明し、倫理規程に「隠しを二度と繰り返さない」とを決定した。ところがその裏で、リコール隠しを繰り返すことが明らかになり、隠蔽体質が露見した。リコール隠しを受け、謝社長ら4名が道路運送車両法違反で逮捕、罰金刑に処された。この事件を踏まえ、当時の社長は「信頼される会社には立て直した」と外資系表明し、倫理規程に「隠しを二度と繰り返さない」とを決定した。ところがその裏で、リコール隠しを繰り返すことが明らかになり、隠蔽体質が露見した。
- ② 内向きの危機管理
「M自動車」は、内向きの危機管理しか存在しなかった。「事故責任のユーザーへの転嫁」が本件が問題視された後も、企業責任を認めようとしなかった。責任の転嫁は、企業責任を認めようとしなかった。責任の転嫁は、企業責任を認めようとしなかった。
- ③ 安全優先思想の欠如
同社は、安全優先思想の欠如が、本件が問題視された後も、企業責任を認めようとしなかった。責任の転嫁は、企業責任を認めようとしなかった。責任の転嫁は、企業責任を認めようとしなかった。
- ④ 自らの経営危機
同社は、自らの経営危機が、本件が問題視された後も、企業責任を認めようとしなかった。責任の転嫁は、企業責任を認めようとしなかった。責任の転嫁は、企業責任を認めようとしなかった。